

おうちの
相談室

【問い】定期健診でむし歯はないと言われましたが、冷たいものや甘いもの、酸っぱいもので歯がしみる場合があります。どの歯がしんでいるのかわかりません。治療はできますか。

（長崎市、34歳男性）

【答え】冷水、甘味、酸味およびブラッシングなどの刺激により一時的に鋭い痛みが生じる場合、象牙質知覚過敏症（知覚過敏）が考えられます。何らかの原因で露出した象牙質にさまざまな刺激が加わったときだけ発生し、刺激がなければ、痛みはそれ以上持続しません。

象牙質は歯の大部分を占める組織です。通常は硬いエナメル質または根の部分ではセメント質に覆われており、歯が痛みを感じることはありません。

知覚過敏であれば、持続性の鈍痛や、拍動性のズキズキした痛み、かみあわせたときなどの痛みはないはずです。また、患

歯がしみる

知覚過敏 原因別に対応必要

者さんに「この歯が痛いですが」と聞いても、痛みのある歯がはつきりしません。「上の奥歯全体がしみる」などのように、痛みを感じている場所が不明瞭であることも特徴です。

この痛みをとる治療としては、セメントなどで露出した象牙質表面を覆ったり、象牙質の表面を処理して刺激を遮断したりする方法などがあります。しかし、そもそも象牙質が露出する原因はいくつかあり、それらに対応しないと根本的な解決とはなりません。

エナメル質喪失の原因は▽かんきつ類や酢など、酸性の食物などを過剰に摂取することにより生じる酸蝕症▽歯ぎしりやくいしばりなど、強いかみあわせの力▽過度なブラッシングや歯周病で歯肉が下がったことによる欠損などが考えられます。それぞれの原因に対応しなければ、治療により一時的に痛みが止まっても、再発を繰り返すのです。

このように象牙質知覚過敏症は、原因も含めてしっかり対応する必要があります。早めにかかりつけの歯科医院を受診して相談することをお勧めします。

常岡歯科診療所歯科医師

（長崎市油屋町）

回答者
たがしらすみと
田頭 澄人



質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。